

AFUUE2R lite 取扱説明書

組み立て方法

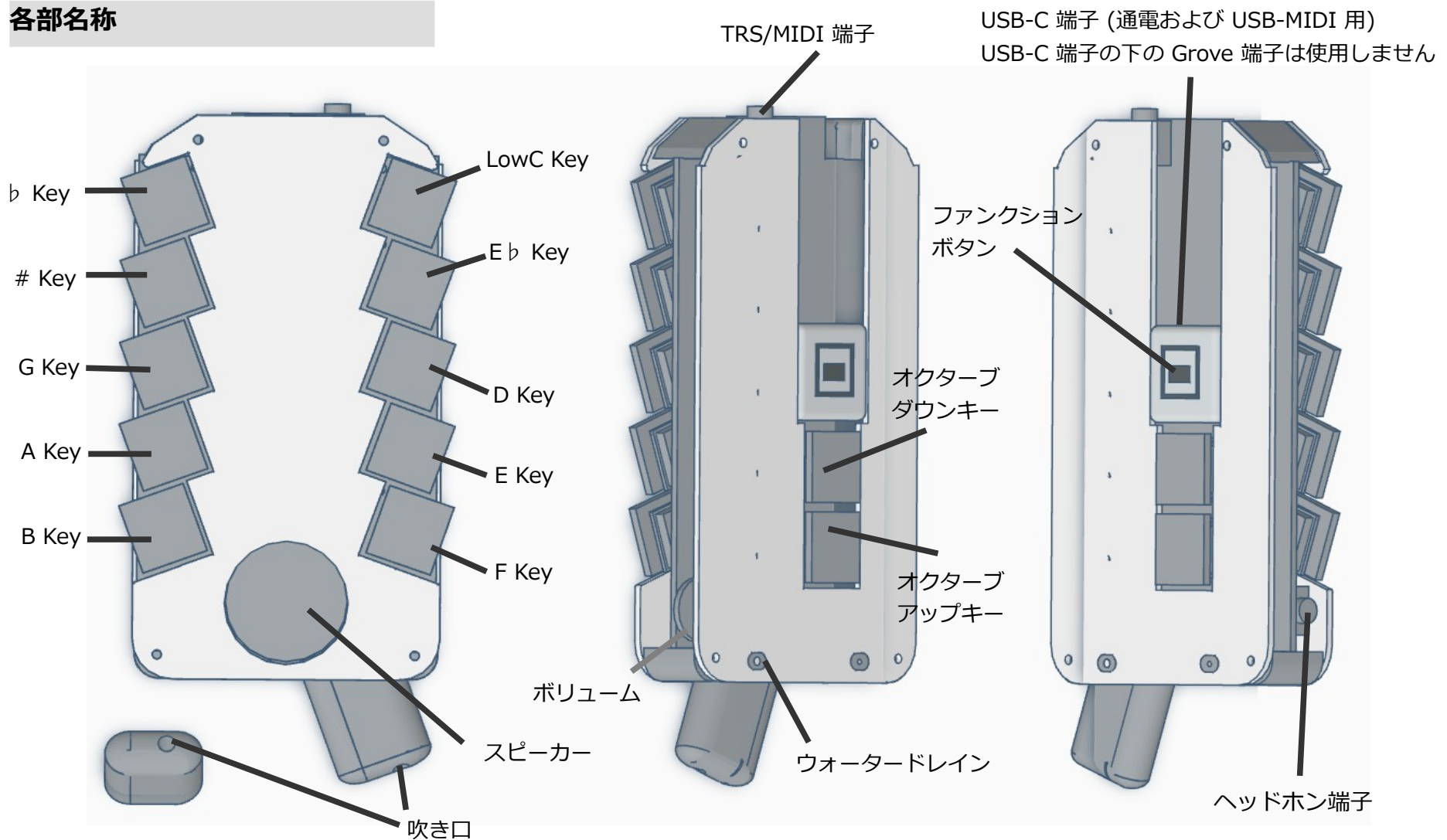
下のアドレスから組み立て動画を参考に組み立ててください。不明な点などありましたら連絡ください。

<https://youtu.be/HXwyarBylEM>

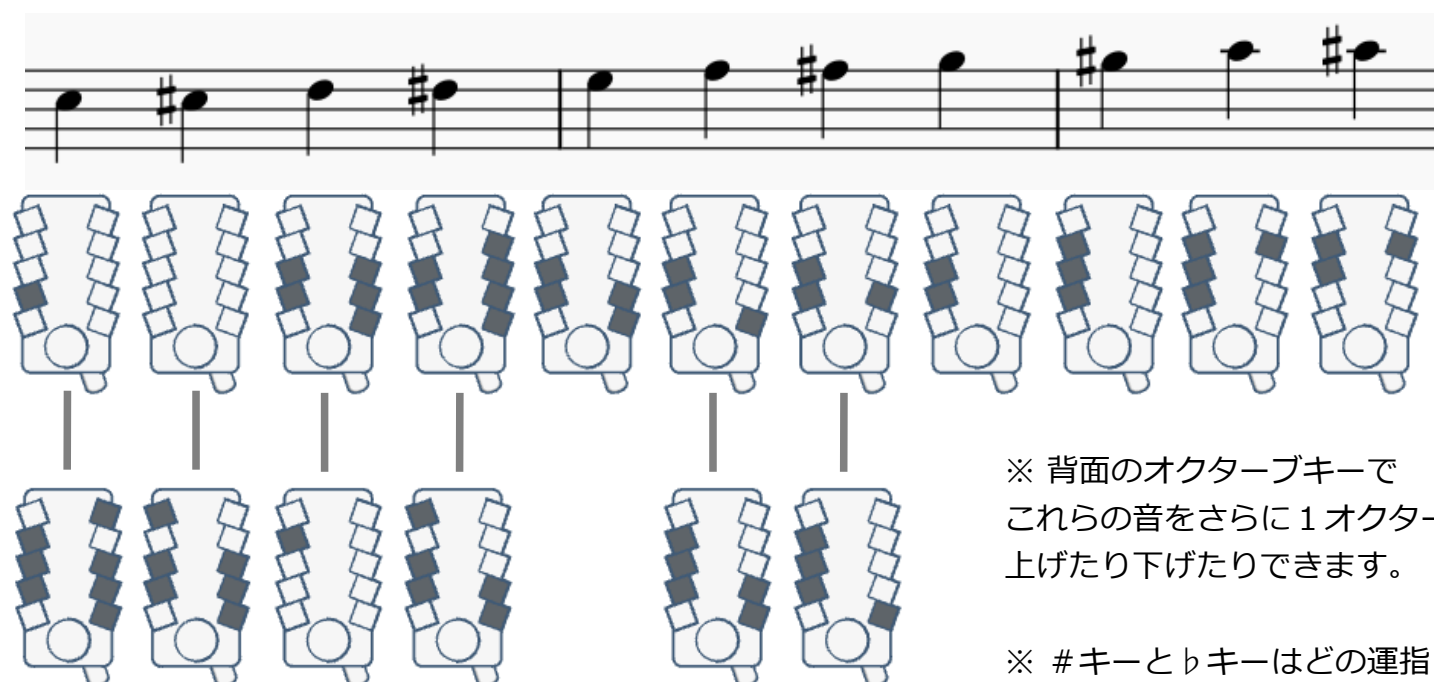
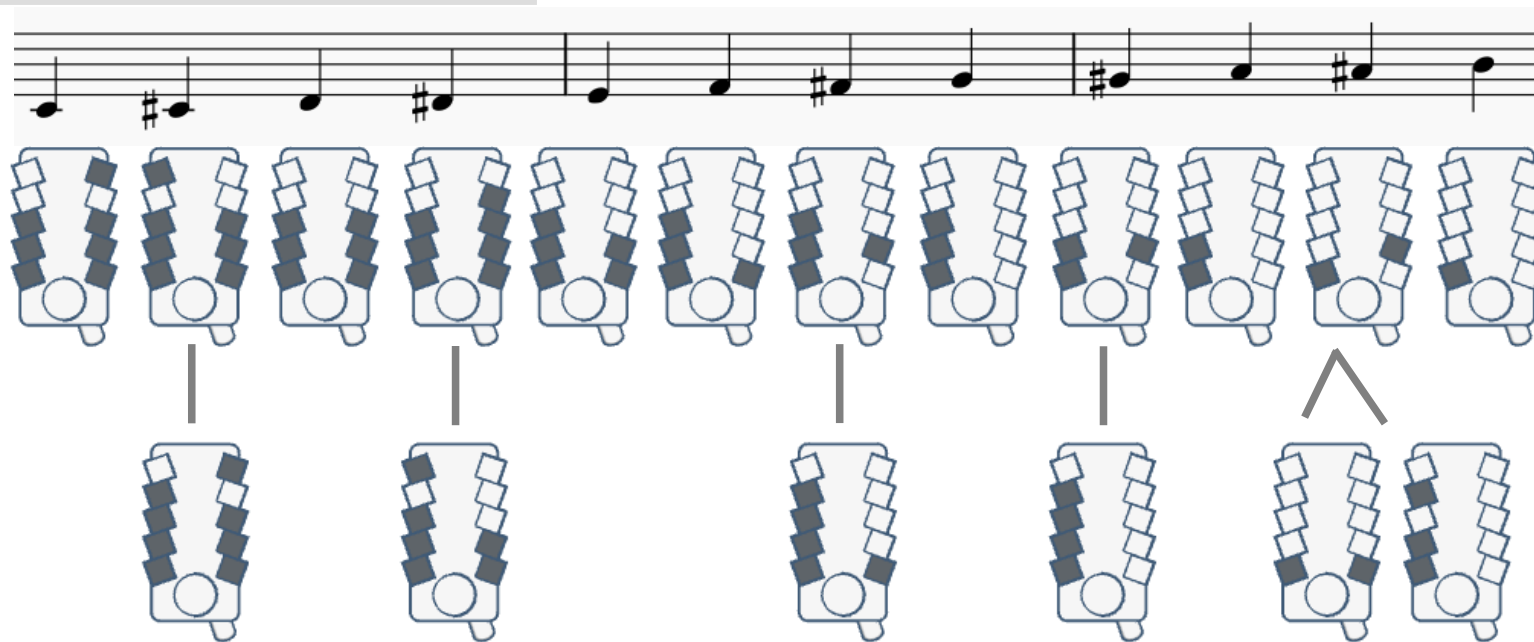
(右の QR コードからもジャンプできます)



各部名称



運指表

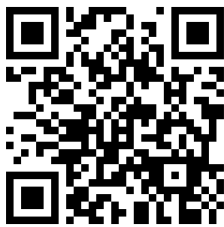


※ 背面のオクターブキーでこれらの音をさらに1オクターブ上げたり下げたりできます。

※ #キーと♭キーはどの運指と一緒にでも使えます。

使用方法

下のアドレスから動画をご覧ください。右のQRコードからもジャンプできます。
(本製品にはリップセンサーはありませんので、動画内のリップセンサー言及部分は無視してください)
<https://youtu.be/5DcaISYnv5I>



ACアダプタやモバイルバッテリー等と AFUUE2R をUSB-Cケーブルで接続するだけで演奏ができる状態になります。
ボリュームを調整しながら吹き口から息を入れて演奏してください。
PCに接続すると、PCへのMIDI入力モード(USB-MIDI) になり、本体からは音が出ません。
ファンクションボタンを押すと演奏モードを切り替える事ができます。

ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すと、下記のように演奏モードが切り替わります。最後の項目の次は最初に戻ります。

単体動作モード（PCに接続しない。MIDI 出力は TRS/MIDI 端子から）

内蔵音源 → MIDI 出力

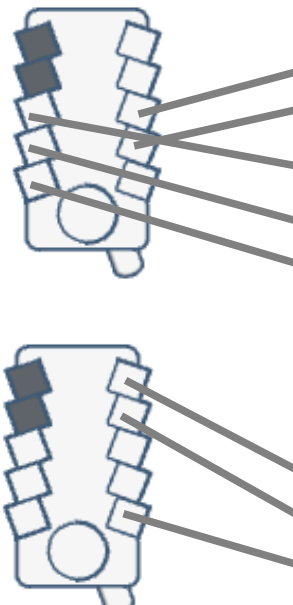
MIDI 出力かどうかは見た目ではわからないので、吹いてスピーカーから鳴らなければヘッドホン出力か、MIDI 出力になっているはずです。

USB-MIDI モード（PCに接続）

機能しません

※ Windows10 PC でのみ動作確認しています。Mac で動作するかは不明です。

各種設定 (#キー + ｵキー同時押し)



#キーとｵキーを同時に押しながら下記のキーを押す事で音色変更と、トランスポーズ(移調)ができます。

Dキー	トランスポーズ -1
Eキー	トランスポーズ +1
Gキー	ローパスQ値の強さ変更（5刻みで 0～25、0がデフォルト） 内蔵音源時のみ
Aキー	ブレス感度変更（50刻みで 350～100、200がデフォルト） 内蔵音源時のみ
Bキー	ブレス出力方法を変更します。 MIDI出力時のみ (ブレスコントロール → エクスプレッション → アフタータッチ → メインボリューム → カットオフ)
オクターブダウンキー	基準音変更 (440Hz → 442Hz → 438Hz) 内蔵音源時のみ
オクターブアップキー	ディレイ変更 (中 → 強 → OFF) 内蔵音源時のみ

LowC キー	音色番号の 1 の位を押した回数で表現します。※
E ｵキー	音色番号の 10 の位を押した回数で表現します。 MIDI出力時のみ
Fキー	音色変更を適用します。 LowC, E ｵキーが押されない時は次の音色に変更します。

※ 内蔵音源時は #キー + ｵキー を押したまま、F キーだけで音色を順番に切り替えできます。
音色は SynthA → SynthB → A_Clarinet → A_Recorder → A_Brass → A_Flute → A_Violin → P_Square → P_Saw → P_Triangle の10個です。
※ MIDI出力時は例えば #キー + ｵキー を押したまま、E ｵキーを3回押し、LowC キーを2回押した後、F キーを押すと音色番号 32 番が送信されます。
1の位、10の位を指定する仕様のため 100 番以降の音色には変更できません。

MIDI 出力について

MIDI 出力には、単体動作モード（PCに接続しない=TRS/MIDI端子から出力）と、 USB-MIDI モード (PCに接続し、PC の MIDI 入力機器として動作) の2つのモードがあります。これは起動時に PC と接続されているかどうかで変わります。どちらも演奏の方法は同じになります。
TRS/MIDI 端子と通常の MIDI 端子の接続には BOSS 製の BMIDI-5-35 ケーブルなどをご利用ください。

リセット

ファンクションボタンを 10秒 押し続けると全ての変更が出荷時設定に戻ります。

お問い合わせ

不明な点や、ご相談事、ご要望などございましたら、どうぞ遠慮なく下記まで連絡ください。
Mail : otoone.dev@gmail.com
X(Twitter) : @OtooneDev